



TVシンポジウム

がんになっても自分らしく ～最新治療と暮らしを考える～



7月7日 土 **NHK Eテレ 全国放送**
午後2時～2時59分

日本人の二人に一人がかかるとされる“がん”。
医学の進歩で長く生きられる病となってきた一方で、副作用などが暮らしを脅かします。
吐き気やしびれといった身体的苦痛に加え、抗がん剤などの高額な治療費で経済的に困窮する人も少なくありません。
そうした課題に医療や社会はどう向き合っていくのか、がん治療を続ける当事者と支援者が語り合います。
※今年2月25日に大阪で開催されたフォーラム「がんと生きる」を編集した番組です。

出演者： 松浦 成昭 (大阪国際がんセンター総長)
山口 竜司 (山口診療所 院長)
山岸 伸 (写真家、慢性骨髄性白血病 当事者)
山本 和美 (がん支援団体Worker and Cancer代表、乳がん当事者)
市原 香織 (がん看護専門看護師、京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)
関 孝子 (大阪府社会保険労務士会 がん患者等就労支援特別部会 部会長)
コーディネーター： 町永俊雄 (福祉ジャーナリスト)
ナレーター： 加藤有生子 (フリーキャスター)

制作 NHKエンタープライズ